

令和6年度訪問型家庭教育支援推進事業 第1回専門講座

1. 日 時 令和6年7月4日(木) 10時から正午まで
2. 場 所 海南 nobinos 4階会議室A、会議室B
3. 参加者 家庭教育支援関係者、子育て支援者、図書館職員、図書館ボランティア、保護者、学校司書、学校関係者、保育士、社会教育関係者、行政関係者、地域でこどもに関わる活動をしている方 49名
4. テーマ 家庭教育支援とこどもの読書～うちどくのススメ～
5. 内 容

❖講 演

こどもと本をつなぐ～絵本の魅力・読み聞かせ～

講 師

和歌山県立図書館サービス課 副主査司書

坂 口 佐 知 子 氏

❖実践交流会(グループ協議)

❖講 演

1) 絵本を知る～絵本が持つ力～

「絵本は、ひとが一番最初に出会う本ではないでしょうか。」

言葉…絵本は言葉の湧き出る泉

絵 …こどもが初めて出会う芸術 感性を育む

物語…想像力と情緒を育む

「こどもは空想の世界で思いきり心を開放させますが、最後のページを閉じた時、絵本の主人公と同じようなちよっぴり成長した自分になれるのです。物語が終わった時から登場人物は物語を離れこどもの心の中で生き始め、人生に寄り添ってくれます。」

「こどもは絵本の好き嫌いは言えるが、選ぶことは難しいもの。こどもに手渡す絵本をおとなは選んでほしいのです。」



2) 絵本を選ぶ～絵本の魅力～

・赤ちゃん絵本 ・昔話、伝説、民話の絵本 ・ものがたりの絵本 ・知識、科学の絵本
・文字のない絵本 ・わらべ唄の絵本 ・詩の絵本 ・しかけ絵本

「絵の繊細さやしかけの面白さ等、こどもたちのために作家が意図したくふうが絵本にはたくさんあり、そのくふうに気づくのはとても楽しいことです。また、昔話、伝説、民話の絵本からこどもは知恵や生きる力を授かることができますし、知識、科学の絵本に対する幼いころの興味は正しい認識を深めることへつながります。発達年齢にあった絵本を選ぶことも大切です。」

3) こどもと本をつなぐ～いろいろな手法～

・読み聞かせ ・ブックトーク ・ストーリーテリング
・ビブリオバトル ・POP ・アニメーション

4) 読み聞かせをする～読み聞かせが育てるもの～

「私の好きな なかがわりえこ さんの絵本に『そらいろのたね』があります。“おおきくなあれ おおきくなあれ”と願うと たねから芽が出て そらいろのいえ が現れる。“もっとおおきく” “やすまずおおきく”と願うごとに、やがて いえ はゾウの家族が暮らせる大きさになるんです。形容詞や副詞の意味をおとなの声と絵をとおして、こどもは**感覚的につかむ**のだと思います。」

家庭で読み聞かせ…読み手、聞き手のきずなを深める

こどもが身近な人のぬくもりや声をとおして安心できる

集団で読み聞かせ…本の世界を共有し、共感の体験、共通の話題を持つ楽しさを味わう

友だちの個性に気づく

作品をいろいろな角度から感じる

みんなの中で自分を発見する



「こどもから『読んで』とせがまれるうちは読み聞かせをしてあげてください。親子の読み聞かせの体験が、やがてこどもの豊かな読書習慣へ移行していきます。こどもたちには成長しても自ら本を選んで読み、心から読書を愛せるひとになってほしいです。」

◆参加者の感想

○こどもが大学4年、中学3年です。小さい頃から読み聞かせをしてきました。今日お話を聞いて、読み聞かせをしてきて良かったなと思えました。また、その頃を思い出して少しキュッと心が動きました。絵本って、いいですね。科学の絵本『かわ』『たんぼぼ』などは、自分もこどもも選ばなかった分野です。この年になって、そんなステキな本があることを知り、読んでみたくなりました。中3の娘が図書委員長をしています。今日先生からお聞きしたお話を娘にも伝えたいと思いました。中学生の読書経験不足が少しでも解消したら…と思います。

- 今年から家庭教育支援チームに携わり、図書の方の担当になっています。少しでも何か参考にさせていただければと思います、参加させていただきました。時代は変化していきますが、やはり自分が母親だった頃に子どもをひざにのせ読み聞かせをしてあげるとい形が一番こどもの心に残るのかなぁと思いました。そして、自分自身がイキイキと読んでいて子どもたちにも伝わる所があるのかなぁと思いました。先生の熱意あるお話、思い出して子どもたちにも伝えたいです。
- 小学校でよく読み聞かせをしていたが、本選びを子どもにさせることが多かった。今日の話聞いて、その年齢に合った本を選び、集中が続くか等の配慮を教師側が必要があると思った。私が思っていた以上に、絵本が持つ力は大きいのだと知り、まずはどんな絵本があるか知ってみたいと思った。
- 昔話の怖い方と平和な方のどちらを読むか悩んで遠ざかっていましたが、今日は道が見えました。
- いろんな本を紹介してくださり、とても参考になりました。特に『かいじゅうたちのいるところ』は、ずっと昔から家にあり子どもに読み聞かせをしていましたが、白い余白が変化しているのに全く気がついてなくてびっくりでした。今日のお話を聞いてもう一度読み返してみたいと思っています。
- 以前日高町で勉強会をしていただき、先生のお話は2回目だったので、今回とってもよく分かりました。「最近の本」のリスト、本当に役立ちます。
- 子どもが2人いて、好きな作者や絵などを選んでたくさんの本を読んできたと思っていました。寝る前に1人2冊ずつ読んでいたのですが、作者の思いやそれぞれの本の違い、いろいろな本を読むことの意味を知ることができました。息子2人も絵本が大好きで少しずつ字も読めるようになってきたのですが、もっと長い間読み聞かせて（それが私の唯一のねる前のママの時間だと思っているので）愛を届けてあげられたらなと思います。

❖休憩時間の様子



「小学校高学年以上に読み聞かせしたい絵本」や「最近の絵本」を展示していただきました。みなさん手にとって、楽しまれています。



❖実践交流会「こどもの読書に関するこれまでの実践について」



◆参加者の感想

- 20年も読み聞かせをされている方のオススメ本や、父親として子どもに本を読む時に気をつけていることをお聞きでき、実生活に取り入れていきたいと思いました。
- 絵本の紹介をしながら互いの市町村の状況など語り合え、ほっこりした楽しい時間を過ごせました。
- 元保育所長さんのボランティアによる地元保育所の絵本のブックリスト作りのお話など聞いて、とても有意義な交流会になりました。
- みなさん、本に対する熱い気持ちを持たれているのだなと思いました。本の思い出を語る中でお互いに共感が生まれたので、良い交流会になったと思います。
- 初めて会う方々との交流会ということで、最初は緊張しましたが、話も盛り上がりあつという間に時間が経ち、他の地域の方の情報も聞いて楽しかったです。
- ほかの方の本をすぐに借りて読んでみたいくなりました。とても楽しい時間になりました。

**みなさんの熱心な
協議の様子に圧倒
されました！**

